

第2次与謝野町総合計画 後期基本計画（案） 答申書

令和4年12月27日
与謝野町総合計画審議会

1 計画の構成について

第2次与謝野町総合計画・後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）について、以下の構成で策定してください。

章	項 目	内 容
序章	計画策定の趣旨	後期基本計画策定の目的・趣旨を、前期基本計画からの流れを踏まえ、明らかにする。
	計画の策定体制	後期基本計画の策定体制を示す。
	計画策定の経過	後期基本計画の策定経過を示す。
	計画の役割	後期基本計画の位置付けを、行政運営上の機能、各種計画の上位計画としての機能の観点から明らかにする。
	計画の構成と期間	後期基本計画の構成と期間を明らかにする。
第1章	社会動向	計画策定の背景として、前期基本計画策定以降の社会経済情勢等の変化（コロナ禍等）を踏まえ、計画全体において共通に認識すべき重要な政策課題を明らかにする。
	与謝野町の現況	与謝野町の特性（地勢・歴史・文化等）、人口の推移、産業構造、財政状況、住民ニーズ（まちづくりアンケート結果）を明らかにする。
第2章 （基本構想）	未来像	与謝野町が目指す未来像を明らかにする。
	基本理念	未来像実現に向けたまちづくりの理念を明らかにする。
	人口見通し	京都市与謝野人口ビジョンをもとに、人口の見通しを明らかにする。
	分野別方針	未来像を実現するための基本的な考えや方針を示す。
第3章 （基本計画）	計画体系図	後期基本計画の体系を図で示す。
	基本計画	分野別方針に沿った施策及び具体的な施策展開を示すとともに、成果指標の設定、SDGs（持続可能な開発目標）との関連付け、関連する個別計画との紐づけを行う。
	重点プロジェクト	計画期間内において分野横断的又は重点的に取り組むプロジェクトを示す。
資料編	各種資料	審議会委員名簿、策定委員会名簿、審議会諮問文、審議会答申文、総合計画条例、審議会条例、用語の説明を掲載する。

2 基本計画について

(1) 基本計画（素案）について

基本計画は、基本構想で示された基本的な考えや基本方針に基づいて、各分野において取り組む施策を体系的に示したものです。前期基本計画策定時に、計画期間は町長任期の4年間とし、公約やマニフェストをふまえた計画変更の手続き期間を設けるために、計画期間の開始年度を町長の任期開始年度の翌年度とすることとされています。

本審議会では、基本構想のほか、「よさのみらい会議」「まちづくりアンケート」等で得られた意見や社会情勢をふまえ、各施策を見直し、令和5年度から令和8年度までの4年間の基本計画（素案）を作成しました。

計画策定にあたっては、前期基本計画の検証内容（現状と課題）のほか、具体的な成果指標、SDGs（持続可能な開発目標）や関連する個別計画との関連づけも明確にしてください。

分野1（産業・仕事分野）

一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち

基本施策1 挑戦が生まれる風土づくり	
<p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな挑戦に意欲がある町内事業者や創業・起業に意欲がある希望者を増やすこと ○ 町内事業者による新たな挑戦を応援する風土を醸成すること 	<p>[成果指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 起業・第2創業・事業拡大・新分野進出数 ○ 産業分野で挑戦しやすいと感じる住民の割合
<ul style="list-style-type: none"> └ 施策① 新たな挑戦に意欲ある町内事業者を地域全体で支援・育成する体制づくり └ 施策② 起業・第2創業・事業拡大・事業承継・新分野進出への支援 └ 施策③ 企業誘致・企業立地の推進 	

基本施策2 農業の振興	
<p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 担い手の確保 ○ 農地の保全 ○ 持続可能な基幹産業にすること 	<p>[成果指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業産出額 ○ 農振農用地面積
<ul style="list-style-type: none"> └ 施策① 新規就農者への支援 └ 施策② 農商工連携・6次産業化への支援 └ 施策③ 自然循環農業の推進 └ 施策④ 新しい農業モデル・新しい農村づくりへの支援 	

基本施策3 織物業の振興

[目的] ○ 織物事業者・従業者数の減少を抑制すること ○ 地域固有の産業である織物業を持続可能な産業にすること	[成果指標] ○ 商工会機業部会員数 ○ 織物従事者数
└ 施策① 新分野挑戦への支援 └ 施策② 織物産地維持への支援 └ 施策③ 和装文化の普及促進	

基本施策4 商工業の振興

[目的] ○ 域内経済の活性化を図ること ○ 町内での消費行動を行う住民を増やすこと	[成果指標] ○ 町内総生産額 ○ 地域内経済循環を意識している住民の割合
└ 施策① 生産性向上・技術力強化・経営基盤強化への支援 └ 施策② 産業人財の育成 └ 施策③ 地域内経済循環の促進	

基本施策5 魅力ある働く場の創出

[目的] ○ 時代に応じた多様な働き方ができる魅力的な働く場を増やすこと	[成果指標] ○ 魅力ある働く場がある（魅力ある職場で働いている）と感じる住民の割合
└ 施策① 雇用の維持・確保に努める町内事業者への支援 └ 施策② 魅力ある働く場づくりに努める町内事業者への支援	

分野2（観光・交流・移住定住分野）

地元を誇りに想い人の流れを生むまち

基本施策1 ファンづくりの推進	
〔目的〕 ○ まちの魅力を知り、誇りに思う住民を増やすこと ○ 関係人口を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 地元が好きな住民の割合
ト 施策① まちの魅力を発見・再認識する機会の創出 ト 施策② 関係人口の創出・拡大 ↳ 施策③ 国際交流の推進	

基本施策2 まちの魅力を生かした観光振興	
〔目的〕 ○ 交流人口を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 観光入込客数 ○ 観光消費額
ト 施策① まちの魅力を体験・体感できるコンテンツ開発への支援 ト 施策② まちの魅力を体験・体感できる交流拠点の充実 ト 施策③ 与謝野町観光協会を中心とした与謝野町ならではのおもてなしの推進 ↳ 施策④ 海の京都 DMO と近隣市町との連携強化による広域観光の推進	

基本施策3 まちの魅力を生かした移住・定住の促進	
〔目的〕 ○ 移住者・定住者を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 移住者数
ト 施策① 移住検討者・移住希望者・移住者への支援体制の強化 ト 施策② 移住者の住まい環境の充実・確保 ↳ 施策③ 町内事業者と連携した移住体験の充実	

分野3（健康・福祉分野）

みんなが自分らしく幸せに生きるまち

基本施策1 健康・福祉を支える人財の育成と確保	
〔目的〕 ○ 保健・医療・福祉サービスに関わる人材を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 保健・医療・福祉サービス従事者数
ト 施策① 人財の育成・確保 ト 施策② ボランティア活動の推進 ↳ 施策③ ICT利活用の推進	
基本施策2 元気な心と体づくりの推進	
〔目的〕 ○ 住民の健康寿命を伸ばすこと	〔成果指標〕 ○ 健康寿命
ト 施策① 健康づくり・食育の推進 ト 施策② 疾病予防・感染症対策の推進 ↳ 施策③ 地域医療体制の維持	
基本施策3 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進	
〔目的〕 ○ 不安を抱えて暮らす人を減らすこと ○ 生きがいを持って暮らせる人を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 不安を抱えている住民の割合 ○ 生きがいを持って暮らす住民の割合
ト 施策① 地域福祉の推進 ト 施策② 障害者福祉の充実 ト 施策③ 高齢者福祉の充実 ト 施策④ 社会的孤立対策の推進 ↳ 施策⑤ 生活困窮者への支援	

分野4（子育て分野）

つながりで笑顔を未来につむぐまち

基本施策1 新たな命の誕生を応援	
〔目的〕 ○ 安心して妊娠・出産ができると思う人を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 安心して妊娠・出産ができると感じる住民の割合
ト 施策① 母子の健康づくりの推進 ト 施策② 食育の推進 ト 施策③ 妊娠・出産・子育て期の一体的な相談・支援体制の充実 ↳ 施策④ 夫婦・次世代の親の学びの機会創出	

基本施策2 親子の笑顔の暮らしを応援	
〔目的〕 ○ 安心して子育てができると思う人を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 安心して子育てができると感じる住民の割合
ト 施策① 多様なニーズに応じた幼児教育・保育サービスの充実 ト 施策② 子ども・家庭に応じた支援と連携の強化 ↳ 施策③ 子育て世代の交流の促進	

基本施策3 地域ぐるみの子育て力の向上	
〔目的〕 ○ 地域主体で展開する子育てサービスを増やすこと ○ 地域ぐるみで子育てをする意識を醸成すること	〔成果指標〕 ○ 地域主体で展開する子育てサービス数
ト 施策① 交流の場づくりの推進 ↳ 施策② 子育て支援の輪づくりの推進	

分野5（教育・スポーツ・文化分野）

魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

基本施策1 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	
<p>[目的]</p> <p>○ 主体的に学び、考え、時代に必要とされる学力を身に付けた児童生徒を増やすこと</p>	<p>[成果指標]</p> <p>○ 標準学力検査（C R T）の数値</p>
<p>┃ 施策① 与謝野町に誇りを持てる子どもたちの育成</p> <p>┃ 施策② 質の高い教育による学力の充実・向上</p> <p>┃ 施策③ I C T教育・グローバル教育の推進</p> <p>┃ 施策④ 地域と学校による連携・協働組織の構築</p>	

基本施策2 一人ひとりを大切にする環境づくり	
<p>[目的]</p> <p>○ 町内すべての小中学校で人権と多様な個性を尊重した学校教育を実施すること</p>	<p>[成果指標]</p> <p>○ 学級生活満足度調査の数値</p>
<p>┃ 施策① 心身ともに健やかな子どもの育成</p> <p>┃ 施策② 学校の適正配置の推進</p> <p>┃ 施策③ 安心安全な学習環境の整備・充実</p> <p>┃ 施策④ 適切な就学指導と教育支援の推進</p>	

基本施策3 生涯学習社会の実現と人権教育の推進

〔目的〕 ○ 生涯学習活動に参加する人を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 公民館講座等への参加者数 ○ 公民館の利用者数
└ 施策① 様々な要請に応じた社会教育の推進 └ 施策② 生涯学習・公民館活動・文化活動等の推進 └ 施策③ 人権教育の推進 └ 施策④ 地域ぐるみで子どもや家庭を支える連携・協働体制の構築 └ 施策⑤ 青少年育成活動の推進 └ 施策⑥ 図書館の充実	

基本施策4 生涯スポーツ社会の実現

〔目的〕 ○ 生涯スポーツ活動に参加する人を増やすこと	〔成果指標〕 ○ スポーツ事業への参加者数 ○ 社会体育施設の利用者数
└ 施策① 多彩な生涯スポーツ活動の推進 └ 施策② 特色あるスポーツイベント等の推進	

基本施策5 文化財の継承と活用

〔目的〕 ○ 文化財を次世代へ継承する意識を醸成すること ○ 文化財を活用した地域づくりを増やすこと	〔成果指標〕 ○ 地域文化財に関する講座等の実施回数
└ 施策① 文化財の保存・活用の推進	

分野6（環境・暮らし分野）

美しくて住みやすい安心安全なまち

基本施策1 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり	
〔目的〕 ○ 脱炭素社会実現・自然環境保全・再資源化につながる取り組みを増やすこと	〔成果指標〕 ○ 温室効果ガス削減量（2013年度比）
ト 施策① 脱炭素社会の実現 ト 施策② 自然保護活動の推進 ↳ 施策③ 廃棄物の抑制・再資源化の推進	

基本施策2 安心・安全に暮らせる地域づくり	
〔目的〕 ○ 暮らしの安心・安全につながる取り組みを増やすこと	〔成果指標〕 ○ 安心・安全に暮らせると感じる住民の割合
ト 施策① 災害に強い体制づくりの推進 ト 施策② 治山治水対策の推進 ト 施策③ ライフライン・建物耐震化の推進 ト 施策④ 交通安全・防犯活動の推進 ト 施策⑤ 消費者保護対策の推進 ↳ 施策⑥ 有害鳥獣対策の推進	

基本施策3 快適で暮らしやすい生活環境づくり	
〔目的〕 ○ 住みやすい生活環境があると感じる人を増やすこと	〔成果指標〕 ○ 生活環境に満足している住民の割合
ト 施策① 快適な住まい環境の充実 ト 施策② 利用しやすい公共交通の確保 ト 施策③ 適正で合理的な土地利用の推進 ト 施策④ 美しい景観の保全・活用 ト 施策⑤ 道路・橋梁・公園等の整備・維持管理 ↳ 施策⑥ 上下水道事業の持続可能な経営基盤づくり	

分野7（地域協働・行財政運営分野）

住民が主人公となるまち

基本施策1 多様な主体による協働のまちづくりの推進

<p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で自治活動を行う人財を増やすこと ○ 主体的に地域の課題に取り組み、自立した地域づくり活動を増やすこと 	<p>[成果指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の自治活動に参加している住民の割合 ○ 地域づくり支援補助金活用団体数
<ul style="list-style-type: none"> └ 施策① 地域人財の育成 └ 施策② 住民による地域自治の推進 └ 施策③ 協働のまちづくりに関する指針づくり 	

基本施策2 みんなが互いに認め合う風土づくり

<p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様性を理解する人を増やすこと 	<p>[成果指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様性を理解する住民の割合
<ul style="list-style-type: none"> └ 施策① 男女共同参画社会の推進と多様な性への理解の促進 └ 施策② 人権意識の啓発 	

基本施策3 未来を見据えた行財政運営

<p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時代に適応した効率的・効果的な行政サービスを増やすこと ○ 健全で持続可能な財政運営を継続すること 	<p>[成果指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行政サービスに満足していると感じる住民の割合 ○ 財政調整基金残高
<ul style="list-style-type: none"> └ 施策① 政策評価を基軸とした自治体経営 └ 施策② 公共施設の効率的な運営・整備 └ 施策③ デジタル社会の実現 └ 施策④ 広域連携の検討・推進 └ 施策⑤ 行政職員の育成 	

基本施策4 見える・聞こえる・言えるまちづくり	
<p>[目的]</p> <p>○ まちづくりへの関心を高め、行動する人を増やすこと</p>	<p>[成果指標]</p> <p>○ まちづくりに関わったことのある住民の割合</p>
<p>└ 施策① 情報発信力の向上</p> <p>└ 施策② 情報共有化の仕組みづくり</p> <p>└ 施策③ まちづくりへの参画機会の充実</p>	

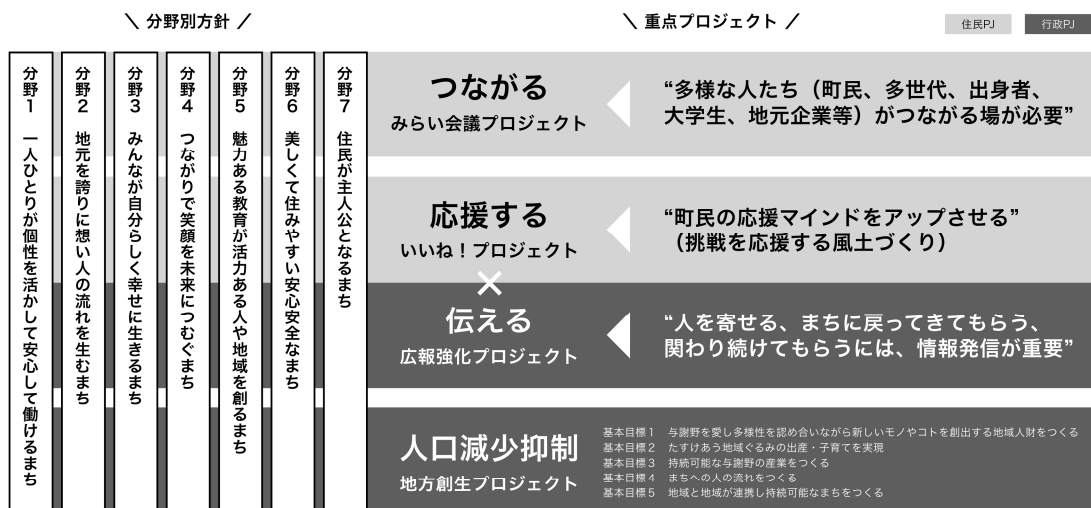
(2) 重点プロジェクトについて

本審議会での議論や、「よさのみらい会議」「まちづくりアンケート」等で延べ1,000人以上の住民参画による計画づくりを進める中で、分野を横断する共通課題として抽出された住民ニーズに応えるため、本審議会では以下のとおり重点プロジェクトの実施を提案します。

実施にあたっては、住民の共感と参画を得て実施するための仕組みを構築し、本審議会に諮った上でプロジェクトを推進してください。

また、第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を後期基本計画に包含し、一体的な管理を行うことで、地方創生の着実な推進を図ってください。

〔重点プロジェクトの位置づけ〕



重点プロジェクト1（仮称）みらい会議プロジェクト

〔目的〕

- 総合計画で描いたまちの将来像を実現する、まちづくりの実践者を生み出す・育む・つなげる・増やすこと

〔審議会・住民の声〕

- よさのみらい会議ではたくさんの刺激をもらった
- 住民、多世代、出身者、大学生、地元企業等、多様な人たちをつなげる、多様な人たちがつながる場が必要。役場にもこの役割を求める
- 子育て世代の人たちが意見が言える場や対話できる場が必要
- 地域の未来のための対話の場、様々な分野で活躍している地域人材による学びの場が創出できないか
- 妄想を構想にすることのできる場づくりができないか
- まちに住む人が、まちの中に居場所をつくって、まちの人が集う。こういった「地産地消」を広げていければ

重点プロジェクト2（仮称）与謝野町いいね！プロジェクト

〔目的〕

- 地域資源の魅力発見と情報発信を行い、町内外の与謝野ファン（まちづくりへの共感者）を増やすこと

〔審議会・住民の声〕

- 人を寄せる、まちに戻ってきてもらう、関わり続けてもらうには、情報発信が重要
- 世代に合わせた親しみやすい情報発信ができていない
- 住民の応援マインドをアップさせる（挑戦を応援する風土づくり）
- 新しく出来た店舗に行ったり、新商品を買ったり、新しいモノやコトを住民みんなで応援する仕組みづくりができないか
- 来訪者に、町内の店舗やまちの魅力、コンテンツをクチコミで伝える地道な活動が効果的
- まちの魅力を住民が SNS で発信する
- 町出身者や転入者などの広報活動を期待！

3 実施計画について

予算・決算と連動した実効性の高い総合計画とするため、毎年度3カ年度を期間とするローリング方式により実施計画を策定し、持続可能な行財政経営の推進を図ってください。

なお、毎年度、施策ごとに成果指標に対する達成度や事業の有効性を評価し、計画の進捗を管理するため、実施計画は総合計画審議会に諮ってください。

4 住民の声について

後期基本計画の策定にあたっては、広く住民の意見を聴く機会を設け、住民参画によって進めてきました。よさのみらい会議等で出た意見については、事業の構想段階から事業設計、実施の段階に至る過程の中で生かしてください。